

科目ナンバリング		U-LAS70 10001 SJ50					
授業科目名 <英訳>	ILASセミナー：国際政治論 ILAS Seminar :International Politics			担当者所属 職名・氏名	人間・環境学研究科 教授 齋藤 嘉臣		
群	少人数群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	ゼミナール(対面授業科目)
開講年度・ 開講期	2024・前期	受講定員 (1回生定員)	10(10)人	配当学年	主として1回生	対象学生	全学向
曜時限	水5	教室	共北3B			使用言語	日本語
キーワード	国際政治史 / 近現代史 / 外交史						
(総合人間学部の学生は、全学共通科目として履修登録できません。所属部局で履修登録してください。)							
【授業の概要・目的】							
国際政治史・外交史に関連する基礎的な文献を読み、参加者全員で討議を深めることで、歴史に対する理解を深めることが目的である。							
【到達目標】							
国際政治史上の重要な事件や人物を取り上げることで、自ら研究する際の視座を得る。							
【授業計画と内容】							
各自が選択した国際政治史や近現代史に関する書籍につき、書評を行う。							
第1回 オリエンテーション 第2回 割当決め、その他 第3回 個別報告1回目 … 第13回 個別報告11回目 第14回 最終総括 第15回 フィードバック							
毎週1名から2名の報告担当者を決め、あらかじめ自ら選定した書籍について紹介と批評(レビュー)を行なう。 その際、レジュメを作成して全員に配布し、20分から30分ほどの報告のあと、履修者全体からコメントをもらい、質疑応答の時間を設ける。							
最終的には選定した書籍やその関連分野につき、4000字から5000字程度のレポートとして提出することが求められる。							
【履修要件】							
特になし							
【成績評価の方法・観点】							
レポート 50% 平常点・議論への貢献 50% (3回以上欠席の学生は単位を付与しない)。 詳しくは授業中に説明する。							
----- ILASセミナー：国際政治論(2)へ続く -----							

ILASセミナー：国際政治論(2)

[教科書]

使用しない

[参考書等]

(参考書)
授業中に紹介する

[授業外学修(予習・復習)等]

ゼミ後には、ゼミ中に行われた議論をふまえ、個別研究を進めること。

[その他(オフィスアワー等)]

個人研究を進める意欲を持っていること。積極的に議論に貢献すること。所属学部は問わない。